



浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第3回運営委員会



令和3年10月11日



次 第

1 開会

2 あいさつ

3 取組状況報告

- (1) “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ
- (2) PF会員向けソリューションピッチ
- (3) 浜松デジタル・スマートシティMONTH
- (4) スマホ講座等
- (5) Hamamatsu ORI-Project
- (6) 浜松市新型コロナウイルス感染症対策デジタル化補助金

4 マイナンバーカードの利活用について

5 意見交換

- (1) 防災・安全分野
- (2) 分野間連携

6 閉会

2 あいさつ



浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部

事業本部長 内藤 伸二郎

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- オンラインでの参加者
「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。
- 現地参加者
テーブルのハンドマイクにてご発言ください。

3 取組状況報告

(1) “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ

“デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ

分野間連携を促進するため、各分野の取組を紹介する「ウェビナー」を、月に1回程度開催。

<スケジュールと紹介分野>



主催：浜松市、官民連携PF 対象：どなたでも視聴可能（無料）

“デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ



第4回 ～ウェルネスの取組と課題～

令和3年8月23日(月) 10:00-12:00
参加申込者：67名

開会
概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

講演

浜松ウェルネス推進協議会
池野 文昭 氏

ウェルネス分野
取組紹介

麒麟ホールディングス株式会社
阿野 泰久 氏
株式会社PREVENT
萩原 悠太 氏
社会福祉法人聖隷福祉事業団
池田 孝行 氏

座談会/
質疑応答

▼登壇者
池野 文昭 氏 阿野 泰久 氏
萩原 悠太 氏 池田 孝行 氏
浜松市
▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏



浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。
<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-4>

“デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ

第5回 ～エネルギー分野の取組と今後の展望～

令和3年9月22日(水) 15:30-17:00
参加申込者：72名

開会 概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

講演

浜松市スマートシティ推進協議会
小田 拓也 氏

エネルギー分野 取組紹介

株式会社浜松新電力
北村 武之 氏

株式会社アツミテック
内山 直樹 氏

座談会／ 質疑応答

- ▼登壇者
小田 拓也 氏 北村 武之 氏
内山 直樹 氏 浜松市
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏



The screenshot shows the website for the 5th webinar in the "Digital Smart City Hamamatsu" series. The main content area features a video player titled "アーカイブ動画" (Archive Video) with a play button and a "見る" (Watch) link. Below the video is a "ウェビナー資料" (Webinar Materials) section with four thumbnails: "ウェビナー趣旨説明" (Webinar Purpose Explanation), "エネルギー分野の取組" (Energy Sector Initiatives), "エネルギー分野の取組紹介①" (Energy Sector Initiatives Introduction 1), and "エネルギー分野の取組紹介②" (Energy Sector Initiatives Introduction 2). The left sidebar contains a menu with "ホーム" (Home), "デジタル・スマートシティ浜松" (Digital Smart City Hamamatsu), and "HDSC MONTH" (HDSC MONTH) sections. The "HDSC MONTH" section lists the webinar topics from the 1st to the 5th, with the 5th being the current webinar.

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-5>

(2) PF会員によるソリューションピッチ

第1回PF会員によるソリューションピッチ

今年度の新たな事業として、PFの会員によるサービスやソリューションのピッチイベントを開催。

令和3年8月6日(金) 13:30-16:00

登壇団体：PF会員（10団体）

視聴参加者：PF会員及び浜松市各課

開会挨拶
趣旨説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

協業に向けて
のヒント

浜松市フェロー
東 博暢 氏

ピッチ

ピッチ(5分)・質疑応答(4分)
×10団体

講評

浜松市フェロー
東 博暢 氏

グループ
セッション

▼セッション参加者
登壇団体および視聴者

登壇団体（登壇順）	テーマ
ヘルスケアテクノロジーズ株式会社	ウェルネス
株式会社フジEAPセンター	ウェルネス
PlanetWalker株式会社	産業（ものづくり）
株式会社We will	リモートワーク・多拠点居住
株式会社FromTo	その他
ジャパン・トゥエンティワン株式会社	インフラ
西日本電信電話株式会社	エネルギー・循環型社会
日本電気株式会社	観光・商業
株式会社ウフル	見守り・災害対応
株式会社Y4.com	見守り・災害対応

第1回PF会員によるソリューションピッチ

<ソリューションピッチの様子・アーカイブ>



各登壇者発表概要書

掲載許可をいただいた登壇者のピッチ概要書以下のとおりです。

HAMAMATSU HDSC MONTH	株式会社フジAPセンター 【プロフィール】 クラウドワークスを活用した労働管理	PlanetWalker株式会社 【プロフィール】 Web old school new
株式会社We will 【プロフィール】 デジタルマーケティングソリューション	株式会社FromTo 【プロフィール】 遠隔地・海外からの働き方支援プラットフォーム「FromTo」	西日本電信電話株式会社 【プロフィール】 地域高度化戦略推進フェロニオン
株式会社Y4.com 【プロフィール】 高齢者のデジタル化	株式会社Y4.com 【プロフィール】 高齢者のデジタル化	

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、掲載許可をいただいた登壇団体のピッチ概要書を公開しています。
<https://www.month.hdsc.city/pitch/2021-1>

<第2回ソリューションピッチ>

「防災・安全」 「教育・子育て」 分野をテーマに、
年明け開催予定



(3) 浜松デジタル・スマートシティMONTH

デジタル・スマートシティ浜松 オンラインフォーラム
2021

身体と経済の健康両立で目指す“健幸に暮らせるまち”
～国土縮図型都市・浜松の挑戦～

日時：2021/10/25(月) 13:15～17:00
会場：Zoomウェビナー（参加無料）
主催：浜松市、
浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム

Digital Smart City
HAMAMATSU

“デジタル・スマートシティ浜松”オンラインフォーラムプログラム

時 間	内 容
13:15-13:20	【開会挨拶】 浜松市長 鈴木 康友
13:20-14:00	【 <u>インプットセッション</u> 】 <u>アーキテクチャーから見たデジタル・スマートシティ浜松の現在地</u> モデレーター：浜松市フェロー 南雲氏 パネリスト：鈴木浜松市長、慶應義塾大学大学院 教授 白坂氏、 浜松市フェロー 関氏、浜松市フェロー 日下氏
14:00-14:40	【 <u>セッション1</u> 】 <u>国土縮図型都市におけるモビリティの可能性</u> モデレーター：(株)博報堂ビジネスデザイン局部長 畠山氏 パネリスト：浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム共同幹事 熊瀧氏、 (株)DELIX CEO 渡邊氏、(株)トラジェクトリー 代表取締役社長 小関氏
14:40-15:20	【 <u>セッション2</u> 】 <u>デジタルで生活にワクワクを</u> モデレーター：(株)HEART CATCH 西村氏 パネリスト：ヤマハ(株) 執行役員 大村氏、 日本アイ・ビー・エム(株) 戦略コンサルティング&デザイン 理事 古長氏、 浜松市フェロー 東氏、浜松市フェロー 陳内氏
15:20-15:30	【休憩】
15:30-16:10	【 <u>セッション3</u> 】 <u>デジタルで産業をアップデート</u> モデレーター：浜松市フェロー 東氏 パネリスト：浜松市スタートアップ戦略推進協議会委員 吹野氏、 静岡県農林技術研究所 上席研究員 佐々木氏、 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事 前田氏
16:10-17:00	【 <u>セッション4</u> 】 <u>身体と経済の健康の両立で目指す“健幸に暮らせるまち”</u> モデレーター：(株)HEART CATCH 西村氏 パネリスト：鈴木浜松市長、浜松市フェロー 東氏、浜松市フェロー 南雲氏、 浜松市フェロー 関氏、浜松ウエルネス推進協議会 顧問 池野氏

企業や各種団体が実施するイベントやセミナーを募集し、期間内の様々な時期で開催する。

◆冠事業一覧

令和3年度 浜松デジタル・スマートシティMONTH 冠事業一覧

<p>浜松商工会議所 パソコン教室 【無料体験＆教室見学会】</p> <p>①開催中 ②浜松商工会議所 ③浜松商工会議所パソコン教室(浜松商工会議所会館3階) ④浜松地域にお住まいの方、通勤の方</p>	<p>オンライン親子料理教室</p> <p>①10/16 ②榑杏林堂薬局(はままつママゼミ) ③オンライン ④子育て中の親、子育て世代の親子</p>	<p>もう悩まない、「子どもの苦手感」をデジタル機器で解決 生きるチカラと学ぶチカラを応援する 子どもの多様性×デジタル機器</p> <p>①10/24 ②認定NPO法人 浜松NPOネットワークセンター ③グリエート浜松 特別会議室 ④子ども支援者、学校関係者、保護者 等</p>	<p>Rendir CUP オンラインサッカー大会 ～eスポーツで浜松を盛り上げよう～</p> <p>①10/30 ②一般社団法人レンディル浜松スポーツクラブ ③浜松まちなかマネジメント株式会社 Anyセミナースペース+オンライン ④MONTH 事業HPをご確認ください</p>	
<p>[SDGsの歴史的意義と企業、行政に求められるもの] 西部地域大学共同授業「特別公開講座」</p> <p>①10/2 ②ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会 ③静岡文化芸術大学 講堂(オンラインでも同時開催) ④浜松市・磐田市・袋井市に在住・通勤・通学の方</p>	<p>第29回 ハマまつ・ジャズ・ウィーク 「親子で楽しむジャズコンサート」(ライブ配信)</p> <p>①10/16 ②浜松市、公益財団法人浜松市文化振興財団 他 ③オンライン ④すべての方</p>	<p>第29回 ハマまつ・ジャズ・ウィーク 「ヤマハ・ジャズ・フェスティバル」(ライブ配信)</p> <p>①10/24 ②浜松市、公益財団法人浜松市文化振興財団 他 ③オンライン ④すべての方</p>	<p>食品ロス削減啓発事業「はままつエコレシビ Instagram ハッシュタグキャンペーン」</p> <p>①10/30～11/30 ②浜松市環境部ごみ減量推進課 ③Instagram ④どなたでも</p>	
<p>パソコンの先生になって、一緒に浜松市を応援しませんか? まずは1回で付くタイピングレッスンからだに～)</p> <p>①10/10・10/11 ②夢トロッコ ③【10/10】浜松こども館分室 ここい～ら ギャラリー3 【10/11】あいホール 201号室 ④スマートフォン・パソコン・ITスキルを向上させたい方</p>	<p>初めての「Instagram」講座</p> <p>①10/17 ②浜松市子育て支援ひろば さわさわひろば ③さわさわひろば ④子育て中の親とその親世代</p>	<p>SCI-Japan 第3回 スマートシティ・アーキテクト 分科会 特別セミナー in 浜松</p> <p>①10/24 ①一般社団法人スマートシティインスティテュート ②オンライン ③スマートシティに興味をお持ちの方</p>	<p>第7回 浜松いわたしきん ダンスパフォーマンスコンテスト(ライブ配信)</p> <p>①10/31 ②浜松いわたし信用金庫 ③youtubeライブ配信 ④どなたでも参加視聴可能</p>	
<p>知名度・集客・売上げアップ! ホームページ作成「ウェブサポ」セミナー</p> <p>①10/13 ②浜松商工会議所 ③浜松商工会議所1階101会議室 ④浜松地域の経営者・ホームページ担当者</p>	<p>ITなんでも相談会</p> <p>①10/20 ②浜松商工会議所 ③浜松商工会議所1階101会議室 ④浜松商工会議所会員企業</p>	<p>はじめてみよう! ふるさと納税</p> <p>①10/28 ②浜松いわたし信用金庫(はままつママゼミ) ③オンライン ④子育て中の親、子育て世代の親子</p>	<p>「みんなの下水道教室」のオンライン授業</p> <p>①10月中 ②浜松市上下水道部下水道工事課 ③オンライン ④授業を希望された市内小学校の4年生</p>	
<p>地元・静岡企業から学ぶ DXの舞台裏 DXはじまりの3年とこれから</p> <p>①10/13 ②静岡新聞社、静岡放送、Honest海 ③オンライン ④浜松を中心に静岡県内でDXに取り組む企業、DX担当者</p>	<p>オンライン離乳食セミナー</p> <p>①10/21 ②榑杏林堂薬局(はままつママゼミ) ③オンライン ④子育て中の親、子育て世代の親子</p>	<p>防災デジタル教室 ～命を守る防災情報をスマホで手に入れよう～</p> <p>①10/29 ②浜松市防災学習センター ③浜松市防災学習センター ④どなたでも(スマホをお持ちでない方用の貸出有)</p>	<p>プロにPR動画制作をお願いしてみませんか? HAMAMATSU 動画マッチングサイト</p> <p>①開催中 ②浜松商工会議所 ③オンライン ④浜松地域で商売をしている方</p>	
<p>「デジタルマインドシフト」～地域企業の新たな 勝ちパターンを創る3つのシフトと5つの観点～</p> <p>①10/15 ②デジタルワークシフトコンソーシアム浜松 ③The Garage for Startups + オンライン ④浜松をはじめとする全国の中小企業の経営者、組織変革推進者、行政のデジタル推進責任者・担当者</p>	<p>初心者向け はじめてのZoom講座</p> <p>①10/22 ②認定NPO法人はままつ子育てネットワークびび(はままつママゼミ) ③浜松市子育て情報センター ④子育て中の親</p>	<p>浜松ICTシンポジウム 「中小企業のDXを考える」</p> <p>①10/30 ②NPO法人 浜松ソフト産業協会 ③オンライン ④浜松地域の中小企業、ITベンダー 他</p>	<p>詳細は MONTH 事業 HP を CHECK!▶</p>	
<p>【主催事業】デジタル・スマートシティ浜松 オンラインフォーラム テーマ：身体と経済の健康両立を目指す「健康に暮らせるまち」～国土縮型都市・浜松の挑戦～</p>				<p>①10/25 ②浜松市、浜松市デジタル・スマートシティ官長連携プラットフォーム ③Zoom ウェビナーによるオンライン開催 ④どなたでも</p>

①開催日 ②主催者 ③開催場所 ④参加対象

マンス HP、広報はままつ、静岡新聞等で事業周知を行った。

マンス HP

静岡新聞 特集記事

広報はままつ 10月号

(4) スマホ講座等

令和3年度後期の出張デジタル講座の予定

- 5月～8月の講座の内容を踏襲する形で、12月～2月の間で継続してスマホ講座を開催します。
- 最新の開催情報を浜松市公式ホームページ上に掲載することで、広報・集客を強化します。

開催予定 ※今後、順次日程を追加

No.	施設名称	予定開催日時	担当事業者
1	下阿多古ふれあいセンター	令和3年12月上旬	NTTドコモ（予定）
2	熊ふれあいセンター	令和3年12月上旬	NTTドコモ（予定）
3	伊佐見協働センター	令和3年12月下旬	ソフトバンク（予定）
4	雄踏文化センター	令和3年12月下旬	NTTドコモ（予定）
5	東部協働センター	令和4年1月中～下旬	調整中
6	佐鳴台協働センター	令和4年1月中～下旬	調整中
7	新津協働センター	令和4年1月中～下旬	調整中
8	東部地区体育館	令和4年1月中～下旬	調整中
9	引佐協働センター	令和4年1月中～下旬	調整中
10	二俣協働センター	令和4年1月中～下旬	調整中
11	鹿玉協働センター	令和4年1月下旬～2月上旬	調整中
12	上阿多古ふれあいセンター	令和4年2月中～下旬	調整中
13	五島協働センター	令和4年2月下旬	調整中
14	三ヶ日協働センター	令和4年2月下旬	調整中

講座の構成

- ✓ 合計時間は概ね2時間を想定。
- ✓ 各講座の共通コンテンツとして、開会時に「デジタル・スマートシティ推進のご紹介」を、動画を活用して実施する。

5分	開会、デジタル・スマートシティ推進のご紹介(動画)
50分 ～ 110分	はままつ出張デジタル講座 (スマホ講座)
5分	アンケート回収

開催に関する条件

- 講師**
ソフトバンク、NTTドコモ
- 費用負担**
講師料は無料とする。
講座に必要な設備は協働センター等が、スマホは講師が準備する。
- 日時**
講師派遣の時間は、以下の2パターンを想定。
①午前10時から正午12時 ②午後14時から午後16時
- 会場条件**
最小催行人数10名以上、かつ、各参加者同士の間隔を1.5m以上開けることが出来る会場を準備する。アルコール消毒や検温の準備をする。

生涯学習講座におけるスマホ講座の状況

- 市内の協働センターなどが主催する生涯学習講座の一環として、スマホの基本操作や、よく使うアプリの活用方法を学ぶ講座の開催数が増加しています。

令和2年度
実績

令和3年度
計画

24回

80回以上



LINEの使い方講座@水窪文化会館



スマートフォン入門講座@曳馬協働センター

令和3年7月5日発行 号外 市委託西第4号 回覧 1面

学習成果活用事業
「スマートフォンお悩み解決！」

スマートフォンの操作やアプリの使い方、料金のこと等、困っていることや、よくわからないことを解決できます。この機会に、スマートフォンを安心して使いこなせるようにしませんか。

1 日時と内容
※ 時刻は、毎回13:30~15:30

8月17日(火)	スマートフォンって何？ スマートフォンの使い方 気を付けること(セキュリティ) *お悩み相談
8月24日(火)	アプリって何？ LINE(ライン)の使い方 *お悩み相談
8月31日(火)	MAP(地図)の使い方 動画の楽しみ方 *お悩み相談
9月7日(火)	カメラの使い方(きれいに撮るコツ) *お悩み相談
9月14日(火)	キャッシュレス決済について *お悩み相談

2 場所 和地協働センター 講座室

3 定員 毎回18名
(※全ての回の参加はもちろん、1回だけの参加でもOKです。)

4 費用 無料

5 講師 佐野 圭吾 先生

6 申込方法と持ち物(申し込みは先着順とします。)

※ 和地協働センターの電話または直接窓口にお申し込みください。
(和地協働センター電話番号 ☎486-0253)
◆申し込みの際は、参加希望日をお知らせください。
※ お使いになっているスマートフォンをご持参ください。
参加の際は、マスクの着用をお願いします。
暑い時期ですので、水分補給用の飲み物をご用意ください。
※ 受付期間 7月19日(月)~8月10日(火) 8時30分~17時
(土日、祝日は受付できません。)

和地協働センターだより
西区和地町
6578 和地
☎486-0253

紙面
学習成果活用事業
「スマートフォンお悩み解決」の募集

協働センターだよりなどを通じて広報・集客

国施策や市内の様々な団体の取組との連携

- ・ 浜松市内では、携帯キャリアの店舗、パソコン教室、商工団体や金融機関、シニアクラブや地区社協など、非常に幅広い団体が、スマホやZoomの使い方など、デジタル技術の活用支援講座を開催しています。
- ・ また、総務省は、「デジタル活用支援推進事業」により、採択した団体のスマホ講座の実施費を補助しています。
- ・ 今後、こうした取組の情報を集約し、本市のホームページで発信していきます。

デジタル活用講座の取組情報を集約・発信



(5) Hamamatsu ORI-Project

採択プロジェクト一覧

- 今年度は13件の提案プロジェクトのうち、次の7件を採択し、支援に取り組んでいます。

応募プロジェクト一覧（※テーマ別50音順）

テーマ	法人名・団体名	代表者氏名	所在地 (都道府県)	所在地	実証実験プロジェクト名称
1.農林業	株式会社フジヤマ	藤山 義修	静岡県	浜松市	3D点群データを利用した林道の利活用・維持管理・防災点検運用支援
1.農林業	Yui support株式会社	玉置 麻菜美	静岡県	浜松市	キッチンカーを活用した市民参加型6次化実証プロジェクト
2.暮らしやすさ	国立大学法人静岡大学	日詰 一幸	静岡県	静岡市	新型コロナウイルス感染シミュレーションに向けたD2D社会実験
2.暮らしやすさ	ためま株式会社	清水 義弘	広島県	広島市	まちの情報シェアアプリの災害時ボランティアニーズ収集活用
2.暮らしやすさ	八千代エンジニアリング株式会社	出水 重光	東京都	台東区	海域（浜名湖含む）へ排出されるプラスチック等の人工系ごみ輸送量の実態把握
2.暮らしやすさ	(一社) One Smile Foundation	辻 早紀	神奈川県	横浜市	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
3.その他	どこでもdoerプロジェクト事務局(個人)	岩井 隆浩	神奈川県	藤沢市	どこでもdoerプロジェクト

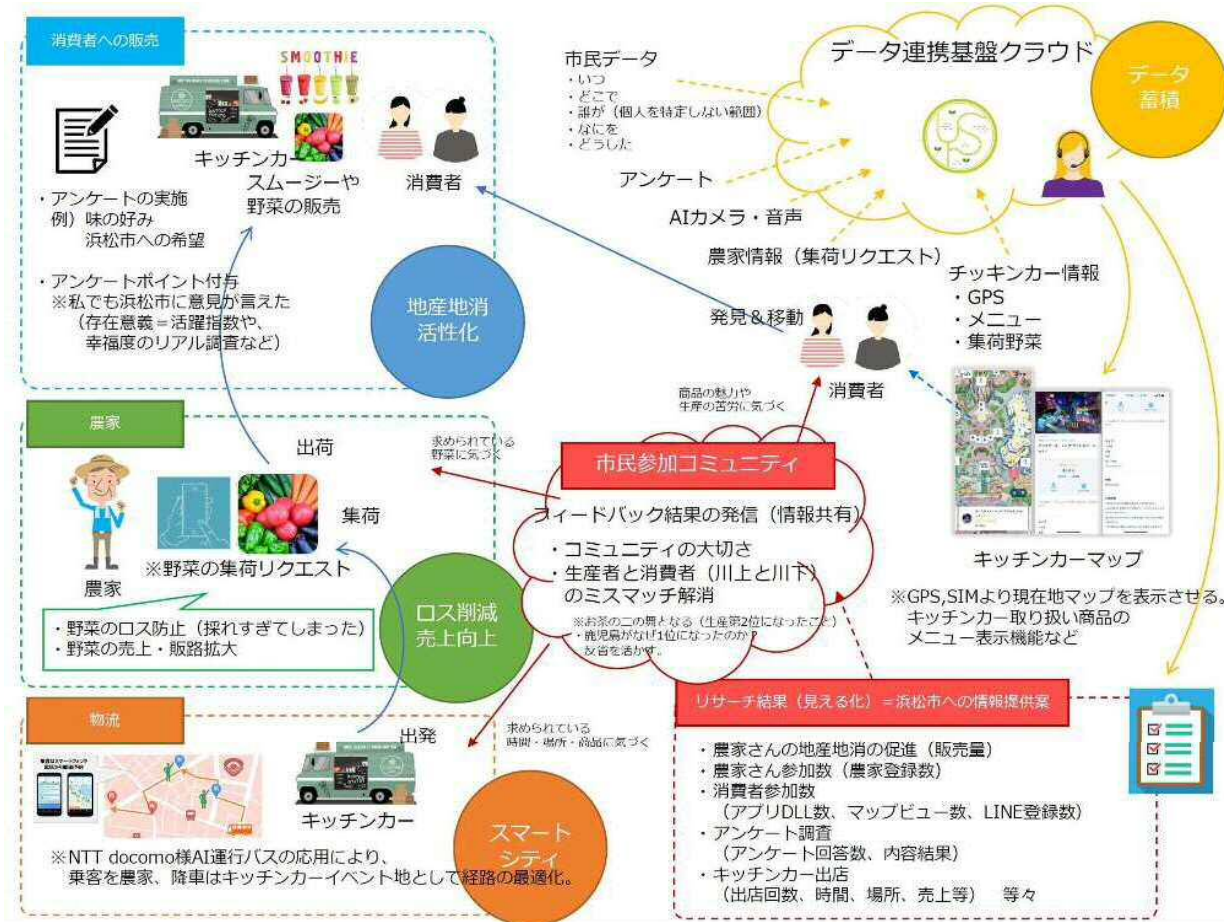
各プロジェクトのスケジュール



個別のプロジェクトの進捗 - Yui support株式会社

- Yui support(株)の「キッチンカーを活用した市民参加型6次化実証プロジェクト」では、取組のPRに向けたキャンペーンとし、北区の都田総合公園にて自社栽培の苺のアイス配布(10月3日、24日)を開始しました。
- また、農業者向けの説明会(10月5日)を開催するなど協力農業者の拡大にも積極的に取り組んでいます。

取組の全体像(最終的なビジョン)



キャンペーンの様子@都田総合公園



協力農業者募集チラシ

データ連携基盤活用勉強会の定期開催

- 今年度から、採択チームのメンバーを対象に、データ連携基盤の活用勉強会を定期的を開催しています。
- データ連携基盤の使い方を実践的に学んでいただき、データ連携基盤の有効活用につなげます。

9月30日(木) 第2回 データ連携基盤活用勉強会（オンライン開催）の様子

The screenshot displays a Katakoda online learning environment. The main terminal window shows the following commands and output:

```

$ docker run --name mongo --rm -d mongo:4.4
Unable to find image 'mongo:4.4' locally
4.4: Pulling from library/mongo
35807b77ab89: Pull complete
664b0ebd0c07: Pull complete
d590f4d0c081: Pull complete
291455135b00: Pull complete
b46409342f13: Pull complete
ba3834625b04: Pull complete
d13718f9cb05: Pull complete
abb9ead70d75: Pull complete
00c10977495b: Pull complete
wwwab859ce88: Pull complete
Digest: sha256:3a452af86860475760f3ab40a8ba9e0d0961fff30e3a998df4b0e605ca1d37
Status: Downloaded newer image for mongo:4.4

```

The sidebar on the left features a diagram of a MongoDB database with an arrow pointing to 'Port 27017'. The video feed in the top right corner shows a participant wearing a face mask, identified as SAKAI Kazuki (CFJ). The Katakoda interface includes a 'REILLY Katakoda' logo, 'KATACODA OVERVIEW & SOLUTIONS', and buttons for 'CLAIM YOUR PROFILE' and 'LOG OUT'.

Code for Japanの「Make our City」との連携

- Hamamatsu ORI-Projectは、(一社)コード・フォー・ジャパンの市民参加型スマートシティ・プロジェクト「Make our City」のパイロットプロジェクトになりました。
- (一社)コード・フォー・ジャパンと連携し、データ連携基盤のユースケース創出に取り組めます。

Code for Japanは市民参加型スマートシティ・プロジェクト「Make our City」を始動。浜松市とデータ連携基盤を活用した実証実験を開始。

一般社団法人 コード・フォー・ジャパン

2021年8月31日 10時42分



一般社団法人コード・フォー・ジャパン（Code for Japan、代表：関治之）は、「Make our City」を立ち上げました。Make our Cityは、テクノロジーやデータを活用することで、市民をはじめとする地域のステークホルダーが主体となつてまちをつくっていくスマートシティ・プロジェクトです。

そして、静岡県浜松市（鈴木康友市長）とデータ連携基盤を活用した実証実験「Hamamatsu ORI-Project」をMake our Cityのパイロットプロジェクトとして開始しました。浜松市のHamamatsu ORI-ProjectではMake our Cityとしてはじめてデータ連携基盤を構築し、市民参加型スマートシティの社会実験を進めていきます。



MoC (Make our City) とは、全国各地で都市に関わるひとり一人の「やりたい!」を実現するために、市民、行政、企業をつなぐネットワーク型のまちづくりのチャレンジです。



プロジェクト
進行中のMake our Cityプロジェクトをご紹介します

- Hamamatsu ORI-Project**
浜松市
デジタルスマートシティ浜松の実現に向けた取組として、実証実験を今年から公募。施策・施策やウエルビーイングをテーマにした水の事業が採択され、データ連携基盤を活用し新たなサービス創出を目指します。
- Make our Kagawa**
加古川市
参加型意思形成プラットフォーム「Decidem」を基盤とし、都市に関わるさまざまな人々の声を実際の施策に反映させるデジタルプラットフォームです。
- Make our Iwate**
西会津町
オンライン上で町の施策等について町民から意見やアイデアを募り、議論や意見交換を行うことが出来る市民参加型意思形成プラットフォームの構築・運用を通じて町民と行政のDXを目指していきます。



Code for Japan

パートナー

- Hamamatsu City
- NEC
- 加古川市
- 西会津町
- 浜松市
- CFIC

(6) 浜松市新型コロナウイルス感染症対策デジタル化補助金

新型コロナの影響で売上げが減少した中小企業等のデジタル化の取組に補助金を交付。

対象者 次の条件に当 てはまる方

- (1) 市内に主たる店舗・工場・事業所・支店を有する中小企業者等
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、8月又は9月の売上が前年又は前々年同月と比較して30%以上減少している者
- (3) 浜松市税の滞納の無い者（徴収猶予を含む）
- (4) 市県民税の特別徴収義務者
- (5) 暴力団及びその団員等との関わりがない者

対称経費

- (1) デジタル化を図るために必要なシステム導入等
 - (2) デジタル化に必要な物品等の購入
 - (3) デジタル化に伴い提供を受けた役務
 - (4) デジタル化を図るために行われる委託等
- にかかると経費 など

一例：テレワーク用のPC・タブレット等の購入費、
キャッシュレス決済導入費 など

申請方法

WEBフォーム又は郵送にて申請
(申請様式や募集要領等は市HPよりダウンロード)

申請期日等

申請受付：2021.10.1から2022.1.31
 対象期間：2020.4.1～2021.12.31
 ※対象期間に取り組んだ、又は取り組む事業が補助対象
 補助金：補助対象経費の全額
 ※上限中小法人20万円、個人事業主10万円

申請受付
令和4年
1月31日
まで

新型コロナウイルスの影響で売上が減少した
中小企業者等のデジタル化の取組を応援します

浜松市新型コロナ ウイルス感染症対策 デジタル化補助金

新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少している
個人事業主や中小企業等の皆様が行う
デジタル化の取り組みにかかる経費が対象です

何に取り組んで
よいかわからない方は
アドバイスをいたします！
ご電話は下記事務局へ

2020年4月以降 に取り組んでいる デジタル化 にかかる経費を 全額補助 <small>2021年12月31日までに取り組む事業が対象</small>	上限 法人 20万円 個人 10万円 補助金を支給 <small>申請は1事業主につき1回まで</small>	2021年8月又は9月 の売上が 前年又は前々年 の売上で比べて 30%以上減少 している事業者
---	---	---

申請先
問合せ

浜松市新型コロナウイルス感染症対策
デジタル化補助金事務局
〒430-0944 浜松市中央区田町324-3 (EPO浜松ビル5F)
電話 053-488-4222(平日 9:30～17:00)

市HP

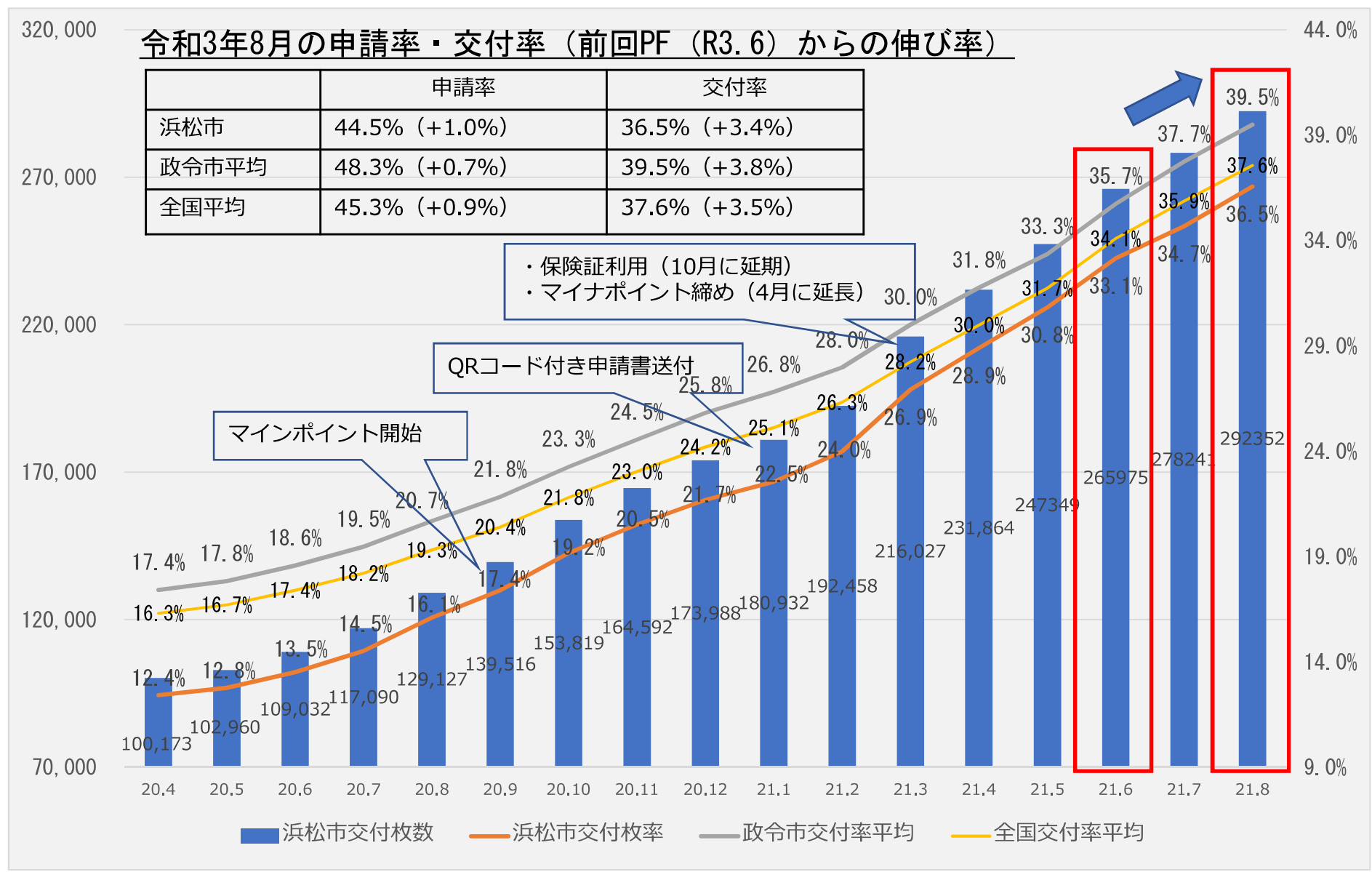


市HP

相談・質問は
専門コールセンターへ
TEL: 488-4222

4 マイナンバーカード利活用の促進について

(1) マイナンバーカード交付状況



(2) マイナンバーカード取得及び活用の促進

① 住民票等手数料の減額及び申請サポート

住民票等手数料の減額

マイナンバーカードを作いませんか？
“住民票の写し”などの取得が**便利**になります！



- 減額サービス対象
- コンビニエンスストア*1 (マルチコピー機設置店舗)
 - 各区役所 区民生活課 ● 協働センター*2 ● 市民サービスセンター など
- ※利用する窓口や取得する証明書の種類によって利用可能期間などが異なります。
 ※1.コンビニ交付には利用者証明用電子証明書の暗証番号(数字4桁)の入力が必要です。
 ※2.一部の協働センターでは、証明書交付の取り扱いがありません。



証明書の種類と手数料 《減額できる証明書は、住所・本籍が浜松市のもので》

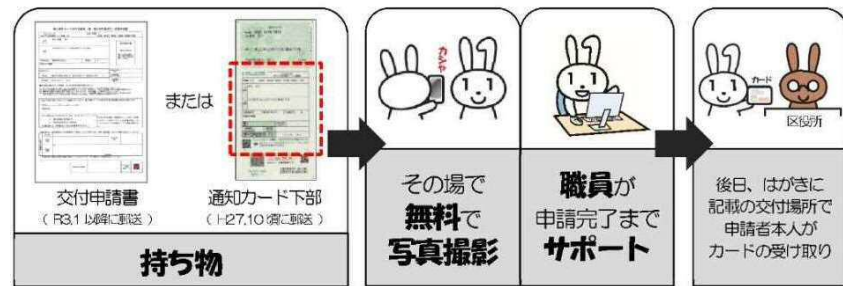
種類	マイナンバーカード“あり”手数料	マイナンバーカード“なし”手数料	減額対象
住民票の写し	150円 (1通)	350円 (1通)	本人・同一世帯員のもの (住民票の除票等を除く)
印鑑登録証明書*1	150円 (1通)	350円 (1通)	本人のもの
戸籍全部(個人)事項証明書	250円 (1通)	450円 (1通)	本人・同一戸籍人の現在のもの
市・県民税所得証明書	150円 (1通)	350円 (1通)	本人のもの (最新年度を含む前5年分)
市・県民税課税証明書	150円 (1通)	350円 (1通)	

※コンビニ以外の窓口で取得する場合は、請求者本人がご自身のマイナンバーカード(原本)を提示することにより、上記の証明書交付手数料が減額となります。
 ※1.印鑑登録証明書をコンビニ以外の窓口で取得する場合は、“市民カード”も併せてお持ちください。

申請サポート

マイナンバーカード申請サポート実施中

マイナンバーカードの発行を希望する人に、写真の撮影などを職員が無料でお手伝いします。所要時間は、およそ5分。ぜひ、この機会に申請手続きをしてみませんか？



※顔写真の撮影があるため、必ず申請者本人がお越しください。

申請後、自宅にカードが出来上がったことを知らせる交付通知書(はがき)が届いたら、はがきに記載の交付場所でマイナンバーカードをお受け取りください。

申請サポートを行っている窓口

各区役所 区民生活課	8:30~17:00 (土・日曜日、祝日は除く)
駅前市民サービスセンター (遠鉄百貨店 新館9階)	

予約不要で素早くカンタン申請

＜備考＞

- ・セブンイレブン、ファミリーマート、ローソンの市内各店舗に本事業の広報ポスター掲出を調整中。
- ・日本自動車販売協会連合会静岡県支部、静岡県宅地建物取引業協会西部支部を通じて、市内の店舗に本チラシデータを送付予定



(2) マイナンバーカード取得及び活用の促進

② マイナンバーカードと連携したポイントバックキャンペーン

【目的】

- ・ マイナンバーカードの普及促進
- ・ マイナンバーカードの利活用の創出
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる消費の喚起、経済活性化

【事業内容】

事前にマイナンバーカードを使って本事業に申込を行い、市が指定した対象店舗にて、特定のキャッシュレス決済サービスで支払いをすると、一定割合のポイントが付与されるもの。

実施時期	R4. 1/1～R4. 1/31
対象店舗	大規模店等以外の店舗を想定
対象者	マイナンバーカードを取得し、申請をした浜松市民
予算額	10億円
備考	総務省の実施する「自治体マイナポイントモデル事業」を通じて、決済サービス事業者との連携の仕組みを備えたマイキープラットフォーム（MKPF）を活用

※還元率、上限額、対象のキャッシュレス決済サービスは検討中

5 意見交換

(1) 防災・安全分野

情報共有システム、遠隔臨場の活用

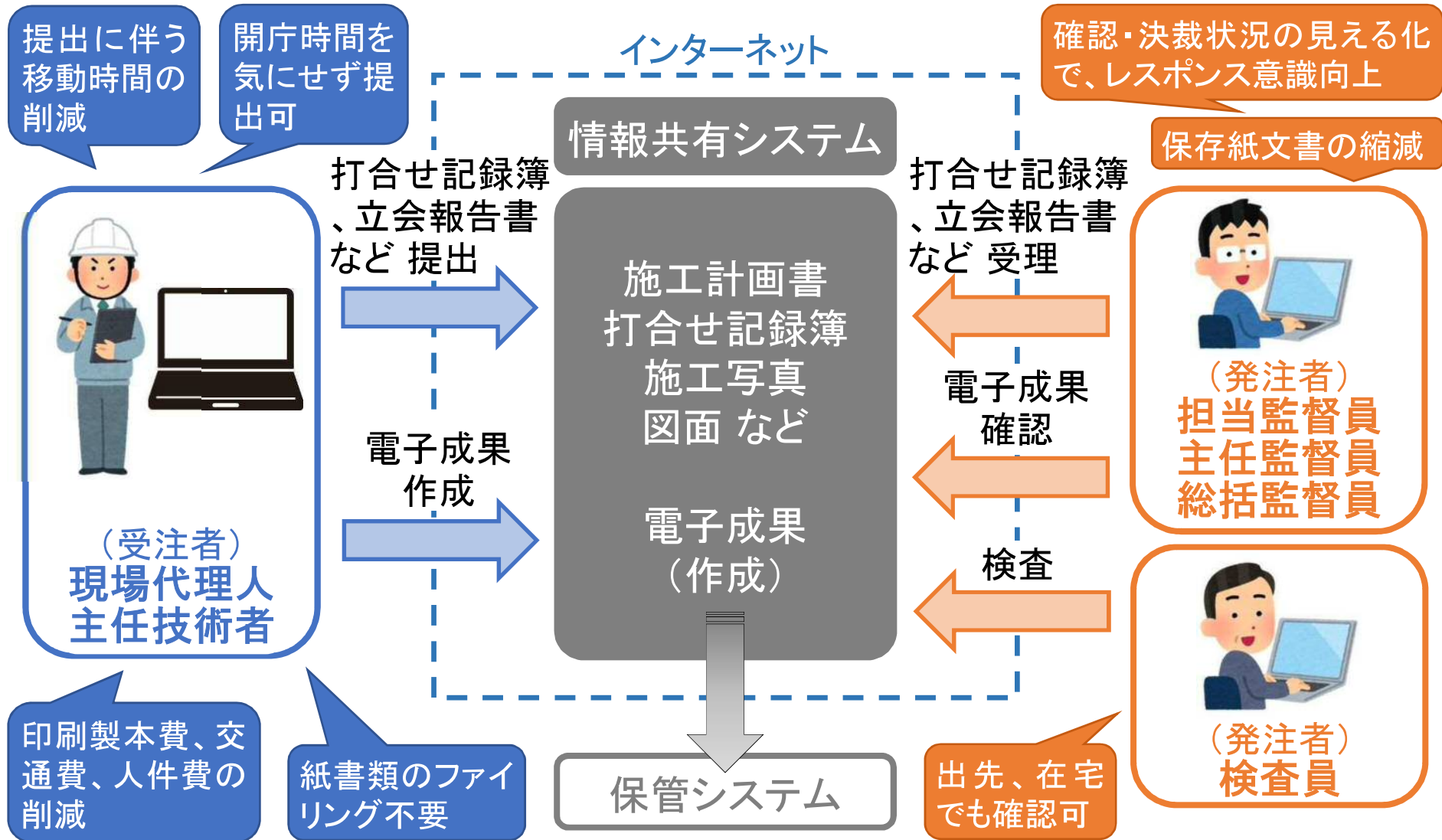
令和3年10月11日

【浜松市土木部】



情報共有システムの活用

「情報共有システム」とは、受注者・発注者間の書類提出や施工情報などをインターネット上のシステムを利用して提出、確認、共有する仕組みです



遠隔臨場の活用

「遠隔臨場」とは、モバイル端末等によるビデオ通話（映像と音声の双方向通信）を用いた段階確認、材料検査、立会を行うものです

◆ 受注者

タブレットやスマホで撮影した現場の映像と音声をWeb会議システム等によりリアルタイムに配信



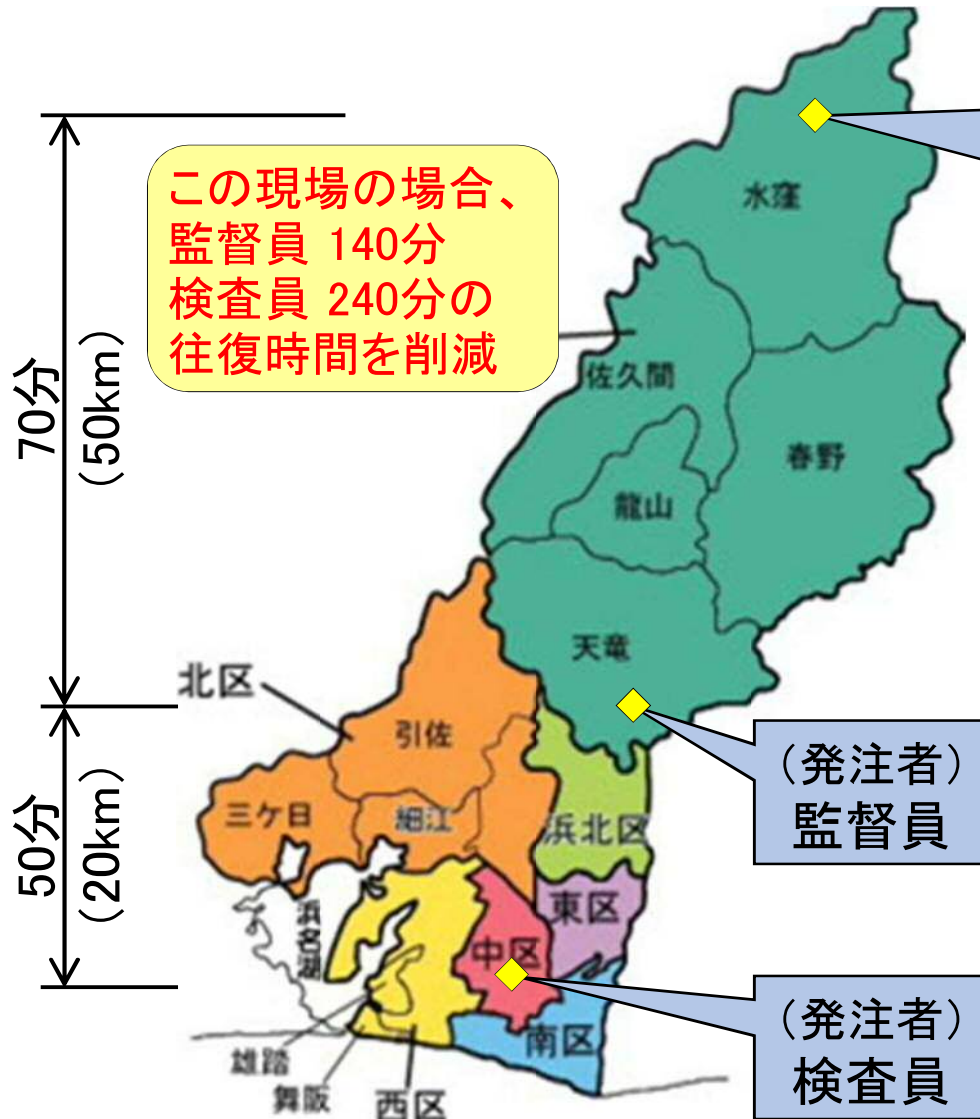
◆ 発注者

配信される映像と音声の情報から、その内容が設計図書等に適合しているか確認



遠隔臨場の活用

遠方現場の映像と音声を異なる場所から共有できるため、発注者は現場までの「移動時間」を、受注者は発注者確認に伴う「手待ち時間」を削減



2021/10/11



HDSC官民連携PF 第03回運営委員会

静岡大学 土木情報学研究所

— 活動紹介とSC連携 —

Institute of Civil Engineering and Informatics (ICEI)

木谷 友哉 (静岡大学情報学部・准教授, ICE所長)

tkitani@inf.shizuoka.ac.jp

※ 所長代理：秋元菜摘 (静岡大学情報学部・講師, ICE研究員)

BIKEINFORMATICS | KITANI LAB





研究所の設立の経緯

- 静岡県内の土木系高等教育の不在
 - 交通の要衝で、**インフラの建設・維持・管理の高度化**に大きなニーズ
- 静岡大学内の土木系研究の存在 + 地域からのバックアップ
 - 意外と浜松キャンパス内で土木分野を対象とした研究が既に多数存在
 - 2019年7月に静岡県・産官学・土木系ワークショップを開催し手応え
 - 静岡県庁交通基盤部，静岡県浜松土木事務所のバックアップ
 - スマートシティやDXに関する社会的要請・関心の高まり
 - ※ 静岡県・浜松市も全国的に注目される取組みとなっている
- 「土木情報学」とは？
 - 土木情報学とは「**土木工学の分野で取り扱われている各種の情報**の取得，生成，蓄積，流通，活用を効率的かつ有効に行うための理論や技術**を探究する学問**」
 - 弊学には土木工学を主専門とする教員はいないが，**国立大学で最も歴史の長い情報学部を擁し**，上記の情報を取り扱う理論や技術については高い専門性



静岡大学 土木情報学研究所 設立 (2020年10月1日) <https://iceishizuoka.ac.jp/>

■ 研究体制

- 学内 17教員 (工学部, 情報学部, 防災センタ, 未来社会デザイン機構) + 学外 5 客員
- 行政
 - 県 : 静岡県交通基盤部, 浜松土木事務所
 - 市 : 浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部, 土木部
 - 国 : 国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所
- 民間 : 静岡県測量設計業協会, 浜松建設業協会, 浜松市内 4 ゼネコン, 浜松市内 2 土木コンサルタント
- 研究所HP :

<https://iceishizuoka.ac.jp/> (研究所独自)

<https://projectkenkyu.shizuoka.ac.jp/introduction-projectlabo/y2020/2-011> (大学)



▲ 中日新聞

◀ 静岡新聞

他、被選挙権も無い。現場を育成にも取り組む。木谷准教授は「同様」の研究所は全国的に。必要な技術と知見を見いだしていく」と話した。

kick-offミーティング (2021/02/04)

2021/10/11



■ 参加者リスト (一部)

所長

木谷 友哉 情報学部 情報科学科 准教授

学内研究員

青木 徹 情報学部 情報科学科 教授
中澤 高師 情報学部 情報社会学科 准教授
秋元 菜摘 情報学部 情報社会学科 講師
近藤 淳 工学部 機械工学科 教授
益子 岳史 工学部 機械工学科 准教授
橋本 岳 工学部 電気電子工学科 准教授
二川 雅登 工学部 電気電子工学科 准教授
石原 進 工学部 数理システム工学科 教授
前田 恭伸 大学院総合科学技術研究科 工学専攻
事業開発マネジメントコース 教授
鈴木 康之 大学院総合科学技術研究科 工学専攻
事業開発マネジメントコース 教授
岩田 孝仁 防災総合センター 特任教授
小山 真人 未来社会デザイン機構 教授
鈴木 雄介 未来社会デザイン機構 准教授
八柳 祐一 未来社会デザイン機構 准教授
木村 雅和 理事(研究・社会産学連携担当) /
副学長
今泉 文寿* 農学部 生物資源科学科 教授

(* 学内研究員就任予定)

客員教員

長縄 知行 静岡県 交通基盤部 部長
内田 光一 静岡県 交通基盤部 理事 / 静岡県 浜松土木事務所 所長
杉本 直也 静岡県 交通基盤部 建設支援局建設技術企画課 班長
松本 幸正 名城大学 理工学部 基板デザイン工学科 教授
岡本 修 茨城工業高等専門学校 国際創造工学科 機械・制御系 教授
福代 孝良 株式会社マキノハラボ 代表取締役 /
東京大学 空間情報科学センター 特任准教授
伊藤 昌毅 東京大学 生産技術研究所 特任講師
大友 翔一 株式会社 GEOJACKASS CEO / 静岡大学 情報学部 客員准教授

客員研究教育支援員・客員研究員

吉田 敏章 国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 事務所長
大隅 泰史 静岡県 浜松土木事務所 都市計画課長
朝月 雅則 浜松市 デジタル・スマートシティ推進事業本部 事業本部長
小出 弘章 浜松市 土木部 道路企画課長
外谷 新 浜松市 北土木整備事務所 北土木管理部ループ長
藤山 義修 一般社団法人 静岡県測量設計業協会 会長
中村 嘉宏 一般社団法人 浜松建設業協会 会長
岩部 健治 不二総合コンサルタント株式会社 営業担当取締役
市川 富崇 株式会社フジヤマ 空間計測室 課長
金子 盛康 須山建設株式会社 営業グループ
玉木 利幸 株式会社中村組 顧問
瀧本 昌司 中村建設株式会社 営業課長
坂部 剛 株式会社林工組 土木工事部長
日向 亮介* 株式会社建設システム 経営企画部 部長
安藤 正史* 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 中部支社 副支社長

(* 客員研究員就任予定)

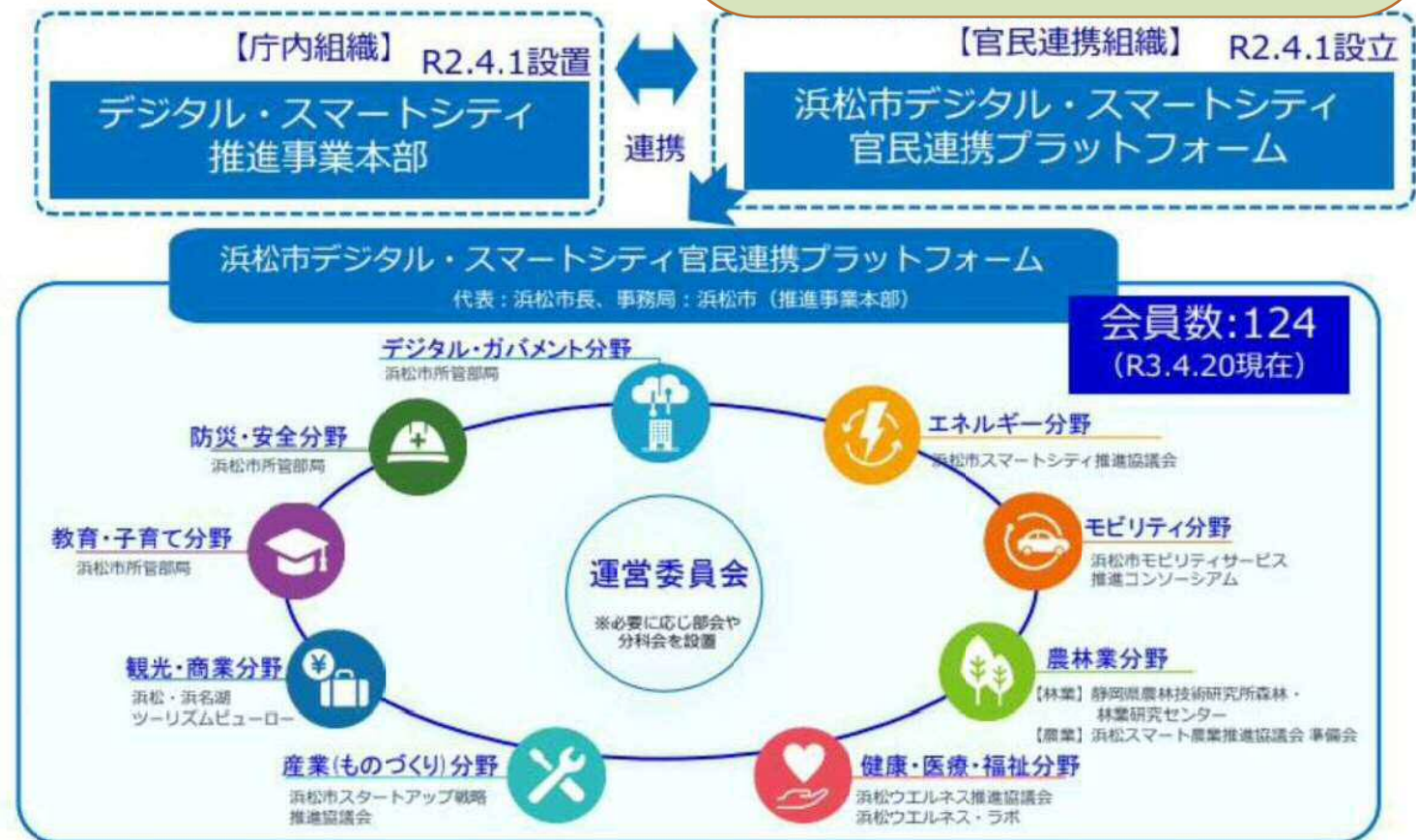
浜松市DSCとの対応等

静岡大学も運営委員会に加わっておりますが、その傘下であり「都市計画やまちづくりを含む土木×情報学」をテーマとして活動しているICEIとしても、HDSCと連携を持つことができれば望ましく考えております。

- 多分野でのDSC化と各分野の連携が構想されている
- ICEIでは現在、**防災やモビリティ分野**での研究・実装などが進められている。**SC研究グループ**も立ち上げており、HDSC本部などと調整中です（**まちづくり**や住民合意に関心のある研究員）。

1 デジタル・スマートシティ

推進体制



出典：浜松市 2021.デジタル・スマートシティ浜松の推進～国土縮図型都市・浜松の挑戦～。



【技術の応用例】 2020年度 浜松 ORIP project 実証実験

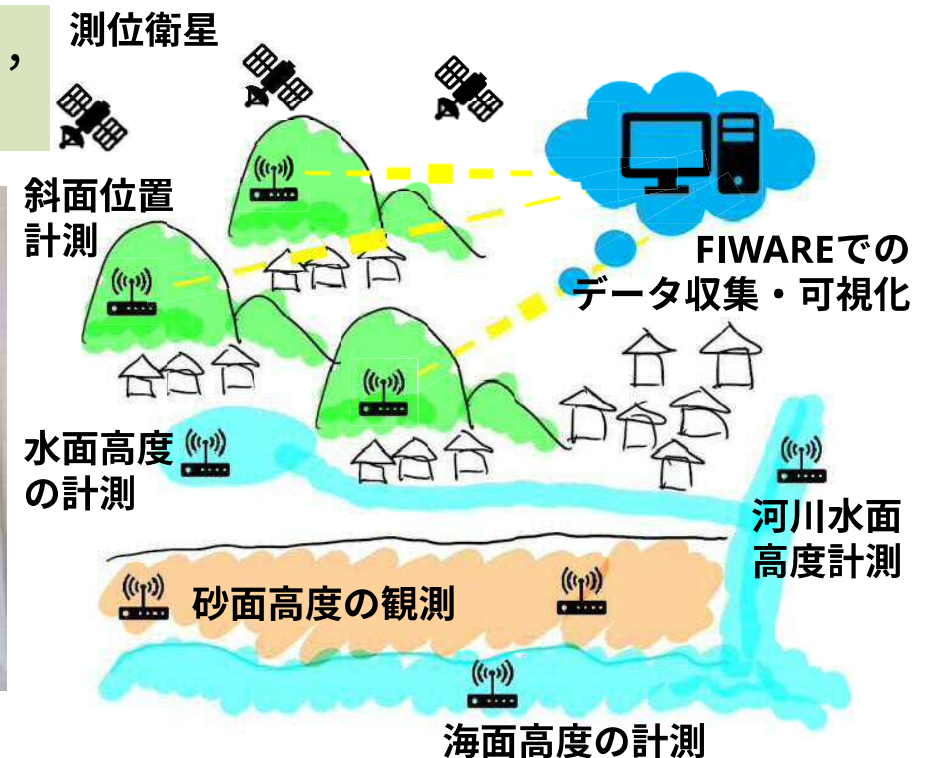
■ 高精度衛星測位を用いた市土保全モニタリング

- 手段：高精度衛星測位（GNSS）を応用した計測
- 応用：地すべりや土砂災害などの観測による早期検知など

携帯電話網を通じて研究室のサーバへ送信し、
自動で処理した結果をオープンデータ化へ



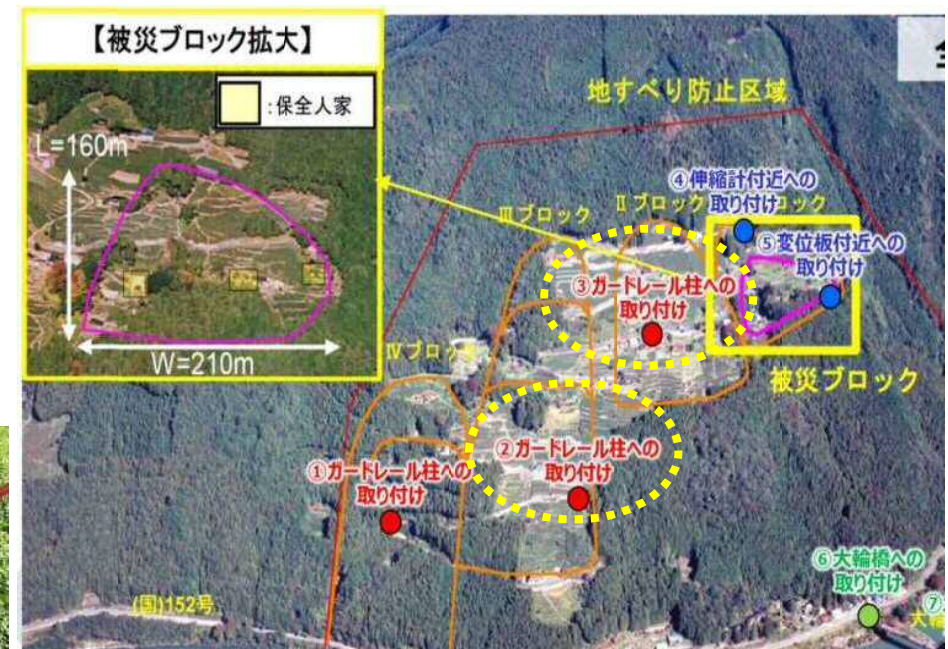
静岡新聞 2017年6月7日 朝刊



【OriProject】天竜区天竜川流域の地すべり 警戒地帯における災害の早期検知



- 要件：数mm / 時間の変位検出で避難警報
 - 既存手段：変位板や伸縮計を用いた局所的な変位観測
 - 問題点：地盤ブロックごと動く地すべりは事前の検知困難
- 今回の検証目的と成果
 - 高精度衛星測位を利用した
広域での観測による地すべり
ブロックの早期発見できるか？
 - RTK-GNSS技術の有効性を確認



詳細はR2活動実績（報告資料）をご参照
<https://www.oriprojecthdsc.city/r2project>



【SC研究の推進】 スマートシティ研究会における取組み

■ まちづくりについて関係者を招集・構築中

- 既に2018年度から継続して情報学とまちづくりについて文理工融合の研究・議論に取組み，環境・関係を整えてきた．2020年にICEが設立されたことを契機に，スマートシティを考える研究会が構想された．

※ 静岡大学高柳記念未来技術創造基金・研究助成2016-2021（中澤*・木谷・秋元ほか）

※ 静岡大学情報学部Xプロジェクト2020-2022（秋元・木谷・中澤*，外部有識者：松本・玉木）

■ グリーンインフラ（GI）への情報学的アプローチ

- 街なかから中山間地域までをカバーし，人間・構造物と自然が共生できることを構想する概念としてGIに注目している．広域を自動でモニタリングするなどの技術的解決だけでなく，高度情報社会における市民・社会基盤・自然環境が連携できるようなデザインを検討するために，**情報学**（**文系**・**理系**）が貢献できることについて研究・議論している．

■ 市民参加型のまちづくり

- 市民サイドからのアプローチについてもDSC本部・瀧本様と調整中．

研究・活動の実施体制

- 静岡大学情報学部・木谷研究室（ICIE所長）
 - 自動二輪車を対象とした高度交通システムの研究
 - 高精度衛星測位によるセンチメートル級の位置情報応用
- 協力（ORIEProject）
 - 浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部
 - 株式会社フジヤマ
 - 静岡県浜松土木事務所
- SC研究会（静岡大学情報学部X-project：秋元・木谷）
 - 共同研究者：中澤高師（東洋大学）
 - 外部有識者：松本幸正（名城大） 玉木利幸（中村組）
- その他の活動・協力
 - 浜松ホトニクス（産学官連携等），他
 - 各研究員も個別に企業・研究者と連携を行っています



(2) 分野間連携

モビリティサービス推進コンソーシアム

○コンソーシアム会議の開催

- ・コンソーシアムの全体会議の開催（5回程度/年）
 - ※コンソーシアムや市、会員のプロジェクトなどの共有や意見交換
- 第一回 5月27日(木)
第二回 7月28日(水)
第三回 10月7日(木)

○オンラインセミナーの開催

- ・主に会員を対象としたオンラインセミナーの開催（2回/年）
- 第一回 8月3日(火)@Zoomウェビナー
Scrum Ventures VP of Strategy 桑原智隆氏 講演
パネルディスカッション「浜松版MaaS創出に向けて」
- 第二回 9月2日(木)@Zoomウェビナー
慶應大学大学院 白坂成功氏 講演
取組発表とパネルディスカッション
スズキ、モピ、ヤマハ発動機、ティアフォー

モビリティサービス推進コンソーシアム

○アイデアソンの開催

- ・会員によるアイデアソンを開催し、会員間の連携を促進
会員による地域課題の解決や地域の活性化に資する新たなプロジェクトの創出

<開催概要（予定）>

課題の洗い出し・意見交換（アイデアソン）とアイデアの発表（アイデアピッチ）の2回に分けて開催。

【アイデアソン】

- 第一回 10月19日(火)
健康・医療・福祉 X モビリティ
- 第二回 10月26日(火)
観光・商業 X モビリティ
- 第三回 11月2日(火)
防災・安全 X モビリティ

【アイデアピッチ】

1月25日(火)

浜松市内で実施している（又は実施予定）モビリティ関連のプロジェクト

Digital Smart City
HAMAMATSU



■プロジェクト名称

遠鉄ストアの移動スーパー

■実施団体

株式会社遠鉄ストア

■背景・目的

日ごろのお買い物にご不便を感じている方々へのお買い物支援策として運営を開始（8月5日より）。

+

商品をお届けするだけでなく、スーパーを利用される高齢の方の見守り活動を実施（浜松市との間で「はままつあんしんネットワークに関する協定」を締結）。

■概要

【販売パートナー】
1名（浜松市在住）

【車両】
スズキ キャリーを架装

【販売エリア】
・拠点店舗 大人見店（浜松市西区大人見町3367-1）
・販売エリア 浜松市北区（主に引佐地区）、浜松市西区（主に深萩地区）

【販売品目】
約400品目1,200品

【販売日程】
①月曜日 & 木曜日コース・・・19か所
②火曜日 & 金曜日コース・・・18か所
③土曜日コース・・・10か所（高齢者施設を中心に訪問）

【利用者条件】
事前に行ったお宅訪問で「ぜひ利用したい」とお答えの方に対して支援を開始、継続
・浜松市北区・・・52件、浜松市西区・・・9件
・年代は80歳以上が多く自家用車がなく近くにスーパーがないお客様が多い



浜松市内で実施している（又は実施予定）モビリティ関連のプロジェクト



■プロジェクト名称

キャンピングカーを活用した移動保健室 試行的実施（2021年11月-12月）

■実施団体

株式会社フジEAPセンター（浜松オフィス：浜松市中区中央1-6-1 松野ビル3階）

■背景・目的

<背景>

- ①コロナ禍における受診控えが広がり、労働者の健康悪化が懸念されている
- ②多忙な労働者が、日中に時間をかけて医療機関、相談機関に行く時間が取れない
- ③事業所に産業医・保健師が訪問しても、プライバシーが保たれる個室空間が確保できない

<目的>

- ・「待ち」の姿勢ではなく、「攻め」の姿勢による労働者の健康保持
- ・浜松市の中心地と遠隔地の格差是正
- ・モビリティの存在価値の一つは「安心して話せる個室空間の提供」になるとの仮説を検証

■概要

待っているだけでは、救えない「悩み」がある



※将来イメージ（自動運転）



※将来イメージ（個室で遠隔相談）



浜松市職員（所属長）対象
①天竜区役所（11月17日）
②東区役所（11月25日午前）
③南区役所（11月25日午後）

遠方でもこちらから出向く
（片道約1時間）



ハイエースを改造した専用車両



※遠隔眼科チェック、郵送健診等を検討中



浜松市内で実施している（又は実施予定）モビリティ関連のプロジェクト



■プロジェクト名称

内野台おでかけ車両貸出サービス

■実施団体

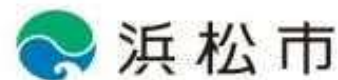
スズキ株式会社、株式会社博報堂 ※ご協力:浜松市、自治会など地域団体

■背景・目的

- ・浜松市の課題であり、強みでもある健康寿命への取り組みに対して、移動という観点で向き合う
- ・高齢者の外出を促進することで、健康寿命の延伸と地域の活性化に繋げる
- ・実証実験を通じて高齢者の移動課題を把握するとともに、その解決に向け、今後のサービス内容および運営方法の成立性を検証する

■概要

- ・地域の高齢者に、電動モビリティを共有・活用していただくシェアリングサービス
- 【日程】
- ・2021年11月1日(月)－2021年12月10日(金)
- 【場所】
- ・浜北区内野台周辺エリア
- 【対象モビリティ】
- ・セニアカー(ハンドル型電動車いす)
- 【料金】
- ・無料



2021年9月13日
スズキ株式会社
国立大学法人 浜松医科大学
浜松市

日常の運転と認知機能の関係性について、浜松市で実証事業を開始 ～安全に長く運転を続けられる社会の実現を目指して～

スズキ株式会社（社長：鈴木 俊宏、以下「スズキ」）と国立大学法人 浜松医科大学（学長：今野 弘之、以下「浜松医大」）は、静岡県浜松市（市長：鈴木 康友、以下「浜松市」）と協働し、「高齢ドライバーにおける日常の運転行動特性と認知機能の関係性：前向きコホート研究」を開始します。

浜松市は、市民の皆様の疾病・介護予防や健康増進につながる社会実証事業を実施する官民連携組織として「浜松ウェルネス・ラボ」を2020年4月に設置しました。本実証事業は、「浜松ウェルネス・ラボ」の取り組みの一環として実施するものです。

1. 実証事業の目的

自動車の運転は、多くの方にとって必要不可欠な日常的行動です。適切に自動車を運転するためには、注意力や記憶力など様々な認知機能が必要になりますが、加齢に伴い、こうした機能が低下することは一般的に広く知られています。また、ドライビングシミュレータなどを用いた研究では、運転行動と認知機能の低下の関連も示唆されています。しかしながら、認知機能の低下が日常の運転行動にどのような影響を与えるかはあまりわかっていません。

今回の実証事業では、運転データと認知機能検査の関係を分析することにより、日常の運転行動のどのような側面が、認知機能の低下と関係するかを明らかにします。この研究の成果は、将来的に運転行動の変化から認知機能の低下を早期に発見する技術の開発につながる可能性があります。

2. 実証の方法

参加に同意を頂いた方には、事前に認知機能検査(MMSE)、および脳の健康度チェック「のうKNOW」^{※1}と、自動車の運転に関するアンケートへの記入を頂きます。

その後、お配りする運転データ取得用の専用デバイス^{※2}を自家用車のアクセサリソケットに取り付け、普段通り運転をして頂きます。3ヵ月後、アンケートを実施し、終了となります。

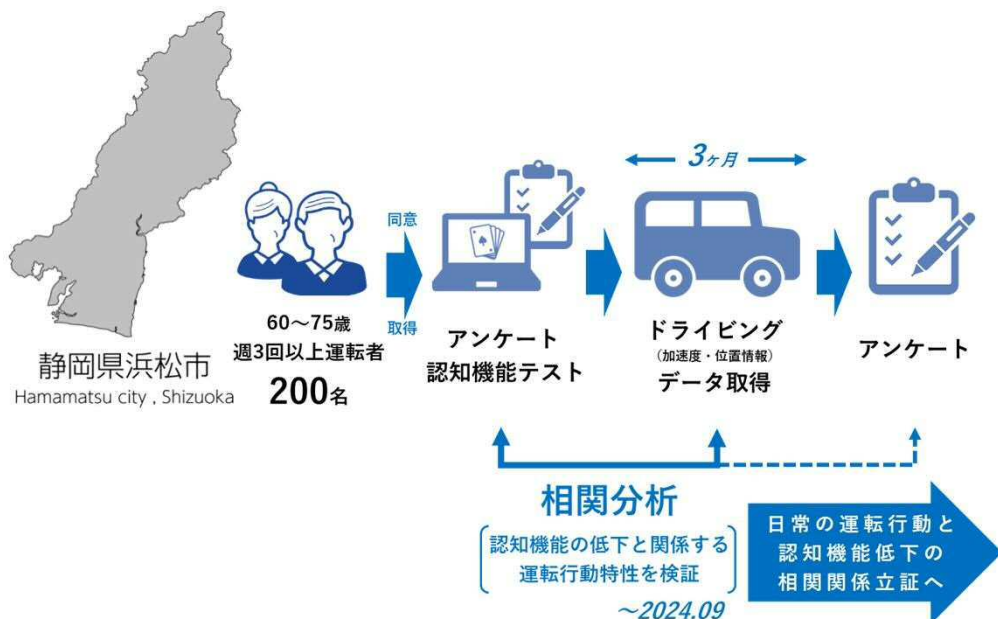
日常の運転と認知機能の関係性について、浜松市で実証事業を開始
～安全に長く運転を続けられる社会の実現を目指して～

目指したい社会

人生100年時代に、80・90歳になっても移動の自由を奪うことなく、
1日でも長く安全に、いきいきとした生活を実現したい。

そのために、毎日の通勤時に運転をしているだけで、
どこよりも早く認知症の兆候を検知し治療・予防に結び付ける

事業概要



<対象>

浜松市在住等の60歳～75歳の健康成人
200名

<方法>

- ① 認知機能テスト2種類(MMSE、
のうKNOW)とアンケートを実施
- ② ドライビングデータを3ヶ月取得
- ③ 認知機能テストの結果とドライビ
ングデータの相関関係を検証

Hamamarau ORI-project 浜松市実証実験事業 採択

キッチンカーを活用した 市民参加型6次化実証プロジェクト



Yui support

Yui support株式会社

Yui support 株式会社
6次産業化プロデューサー（食Pro）
代表取締役 玉置麻菜美





SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

12 つくる責任
つかう責任



12. つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを
確保する

市民参加型

地域食（色）を活かしたオリジナルパンや
オリジナルスープ・スムージーなどの開発



【例】 地域農産物 × 地域企業

